

【事業報告】

事業の概要

<公益目的事業>

I 社会経済史・経営史関連事業

- (1) 当文庫の紀要である『三井文庫論叢』の第50号別冊ならびに第51号(2017年)を刊行した。
- (2) 研究員各自のテーマに沿って社会経済史・経営史にかかわる研究を進めた。また、三井文庫主催の研究会の開催、外部の学会・研究会等への参加(発表)、共同研究の主催、外部機関主催共同研究への参加なども行った。
- (3) 三井越後屋の仕入・販売関係資料、松坂店関係資料、三井鉱山関係資料、三井金属鉱業関係資料、旧三井物産在外支店関係資料などの調査・収集を進めた。
- (4) 資料の保存と利用のため、資料のデジタルスキニングによる複製作成ならびにマイクロフィルムからのデジタル画像作成を進めた。
- (5) 書庫内の資料保存環境整備を進めた。
- (6) 三井関係映画フィルムをデジタル動画化した。
- (7) 旧三井物産関係資料の追加公開を行った。
- (8) 所蔵資料分類目録の整理、所蔵図書目録のコンピュータ入力などを進めた。
- (9) 公的諸機関(国立公文書館、地方自治体史編纂室等)の資料調査、賛助会社等の広報活動・資料保存・社史編纂、報道関係の取材などに協力した。
- (10) 賛助会社向けならびに一般向けの講演会等に講師を派遣した。
- (11) 関係会社、資料保存関係者などの三井文庫見学を受け入れた。
- (12) 資料保存関係諸機関が開催する研修会・研究会などに参加した。
- (13) 三井文庫史料叢書『大坂両替店「聞書」2』の校正作業を進めた。
- (14) 科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金の交付(4件)を受け研究を進めた。

II 文化史・美術館関連事業

A. 文化史関係(資料の保管整理研究事業)

- (1) 特別展図録の発行で執筆の協力をした。
 - 特別展図録『奈良 西大寺展 叡尊と一門の名宝』(日本経済新聞社発行)
 - 特別展図録『地獄絵ワンダーランド』(NHKプロモーション発行)
 - 特別展図録『驚異の超絶技巧! 明治工芸から現代アートへ』(浅野研究所発行)
- (2) 『三井美術文化史論集 第11号』を発刊した。

- (3) 文化財保護法第53条の規定に基づく公開承認施設として、平成26年9月17日より平成31年9月16日までの期間、文化庁より認定中。
- (4) 文化史資料の整理・調査・研究を行い、論文・解説の執筆、研究誌への投稿、各種学会・シンポジウムへの出席、他館・個人所蔵家等への資料調査などの活動を行った。
- (5) 他館における展覧会等に所蔵文化史資料を出品し、学術文化の振興に寄与した。

B. 三井記念美術館関係（資料の公開事業）

- (1) 今年度は、下記の6回の展覧会を開催し、平成29年4月1日から平成30年3月31日までに合計218,777人が入館した。平成17年10月8日の開館以来の累計入館者数は2,093,428人となった。
 - ①「三井家のおひなさま 特集展示 三井家の別荘・城山荘の思い出」
（前年度より引き続き開催）
（平成29年4月1日～4月2日） 入館者数 1,113人
 - ②「特別展 創建1250年記念 奈良 西大寺展 叡尊と一門の名宝」
（平成29年4月15日～6月11日） 入館者数 53,606人
 - ③「特別展 地獄絵ワンダーランド」
（平成29年7月15日～9月3日） 入館者数 40,975人
 - ④「特別展 驚異の超絶技巧！—明治工芸から現代アートへ—」
（平成29年9月16日～12月3日） 入館者数 77,611人
 - ⑤「国宝 雪松図と花鳥—美術館でバードウォッチング—」
（平成29年12月9日～平成30年2月4日） 入館者数 29,194人
 - ⑥「三井家のおひなさま 特集展示 三井家と能」
（平成30年2月10日～3月31日）※会期終了日4月8日 入館者数 16,278人
- (2) 各展覧会に関連し、小・中学校の教職員研修会、親子鑑賞会、小中学生・高校大学生等を対象とする教育普及活動に積極的に取り組んだ。
- (3) 土曜講座・展示解説など、一般客を対象とした普及活動を行った。また、中央区の要請を受け、区民対象の生涯学習の場として「中央区民カレッジ」（合計5回）を前年に引き続き開催し、地域の文化振興に寄与した。

Ⅲ 松の茶屋保存公開事業

今年度は、「卯の花」の老朽化した屋根を中心に保全工事を実施した。また、イノシシにより波板塀が破損した為、修繕工事を行った。

「公開」に関しては、平成29年5月に箱根町が見学者を募集して主催する「松の茶屋探訪会」を開催し、午前16名、午後19名、計35名の見学会を実施した。

また、平成29年9月に外部講師として上山和雄氏（横浜開港資料館館長、國學院大學名誉教授）を招き「地域史研究と資料—粕・千葉県・横須賀を題材に一」についての研究会を実施し、高村直助（東京大学名誉教授）・老川慶喜（跡見学園女子大学教授）・吉良芳恵（元日本女子大学教授）・山本友子（元有隣堂編集者）・高橋秀和（箱根町教育委員会学芸員）の各氏の他三井文庫職員8名計14名が参加した。

<収益事業>

I 不動産賃貸業

三井花桐ビルは、現在全フロア満室となっている。また、今年度は屋上キュービクル屋根改修工事を実施した。